

2022年3月1日
トピー工業株式会社

乗用車用アルミホイール事業を強化 ～アルミ統括センターを新設～

トピー工業株式会社（本社：東京都品川区、社長：高松信彦、以下「トピー工業」）は、アルミホイール事業強化のため、アルミ統括センターを本年2月に新設しました。トピー工業グループのアルミホイール事業の開発・運営機能をアルミ統括センターに集約することにより、連結子会社である旭テック株式会社（本社：静岡県掛川市、社長：高橋正年、以下「旭テック」）および九州ホイール工業株式会社（本社：福岡県苅田町、社長：中正幸、以下「九州ホイール工業」）との同事業の一体的運用をさらに推進するとともに、急激なEV化、エネルギーや原材料価格の急騰等の事業環境の変化への対応力およびお客様や市場のニーズを捉えた新技術の開発・応用力を強化し、グローバルで伸長が見込まれる乗用車用アルミホイールの需要を捕捉することにより、アルミホイール事業のさらなる収益拡大を図ります。

トピー工業は、2018年に旭テックをグループに迎え、アルミホイール事業における営業戦略の一本化を図るとともに、トピー工業の乗用車用スチールホイールと旭テックの乗用車用アルミホイールのそれぞれの販売網を活かした相互拡販を進めてまいりました。また、旭テックと九州ホイール工業の技術の相互供与による生産性の向上や生産の相互補完、製品の軽量化、新たな塗色等の意匠提案による製品開発等を積極的に進めるとともに、購買協力の推進等によるコスト改善を実現し、中期経営計画“Growth & Change 2021”の重点テーマ「グループシナジーの発現」を着実に推し進めてまいりました。

今回、アルミ統括センターを新設することで、開発面および運用面での機能集約を進めるとともに営業活動や原材料購入等の購買活動においてもさらなる共通化を進める等、トピー工業グループのアルミホイール事業の一体的運営を深化させ、統合効果をより一層高めてまいります。

トピー工業は、2021年11月5日付けのリリース「乗用車用スチールホイールの国内生産拠点の集約について」に記載のとおり、2022年6月末までにトピー工業豊川製造所にトピー工業グループの乗用車用スチールホイール事業の国内拠点集約を図り、国内需要に対応した生産体制を構築します。トピー工業は、これらの施策を推進することにより乗用車用ホイール事業の基盤を確固たるものとし、トピー工業グループの持続的な成長と発展を目指してまいります。